

## ● 擁壁とは？

宅地を造成する際などに土砂が崩れるのを防ぐために設けるコンクリートやブロックなどからなる壁のことをいいます。擁壁の代表的なタイプとして鉄筋コンクリート擁壁、間知ブロック積み擁壁などがあります。

構造的に不安定な工法となっている場合や、老朽化などにより機能が低下している場合は倒壊などのおそれが生じます。擁壁に傾きが生じたり倒壊したりすると、宅地や建物に被害を与えると同時に、隣地へ影響を及ぼすこともあります。



鉄筋コンクリート擁壁



間知ブロック積み擁壁



擁壁の倒壊による宅地被害の事例

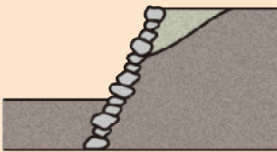
## 点検のポイント

### Point 1 不適切な工法や設置の状況になっていませんか？

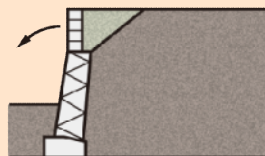
擁壁が次のような場合は、不安定なものが多く注意が必要です。

- 石を積み重ねただけなど、コンクリートで一体化していない擁壁（空積み擁壁）
- ブロックなどで継ぎ足して造られた擁壁（増し積み擁壁）

高さが高くなるほど不安定になります。

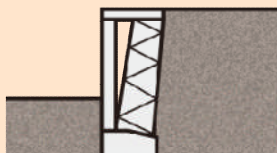


玉石積み擁壁

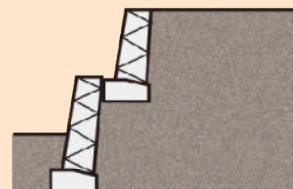


増し積み擁壁

- 擁壁の上部に床版を張り出して設けているもの（張出し床版付擁壁）
- 擁壁のすぐ上に別の擁壁が設けられているもの（二段擁壁）



張出し床版付擁壁

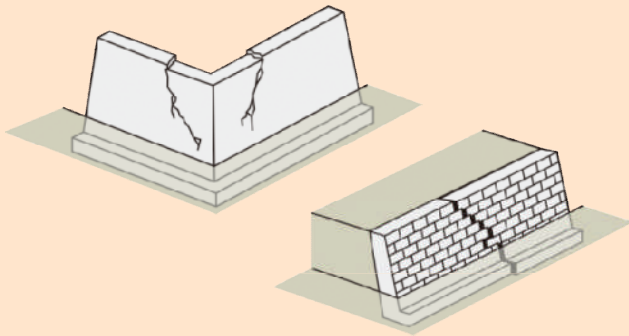


二段擁壁

## Point 2 ひび割れ、ずれ、ふくらみ、傾きなどの変状はありませんか？

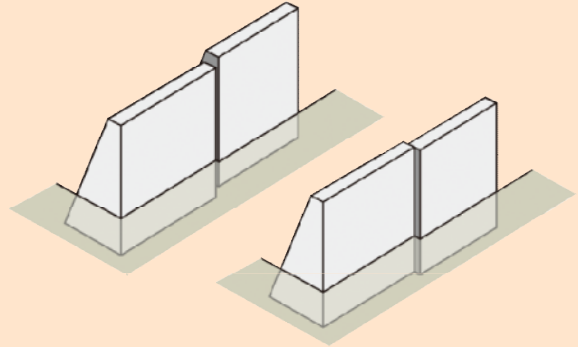
擁壁に次のような変状が現れている場合は、強度が不足しているおそれがあり、注意が必要です。

- ひび割れが発生している場合



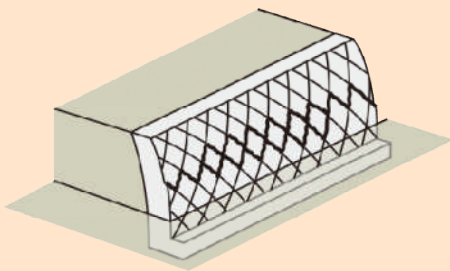
コーナー部でのひび割れ

- 目地に前後・上下のずれがある場合



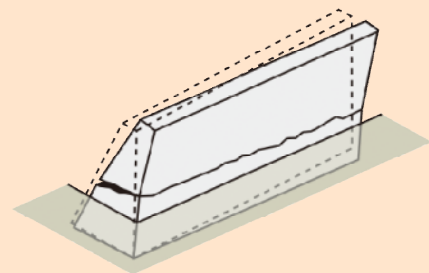
目地の上下のずれ

- ふくらみが見られる場合



ふくらみ

- 傾きや折れている状況が見られる場合



傾き

### Point 3 排水機能は低下していませんか？

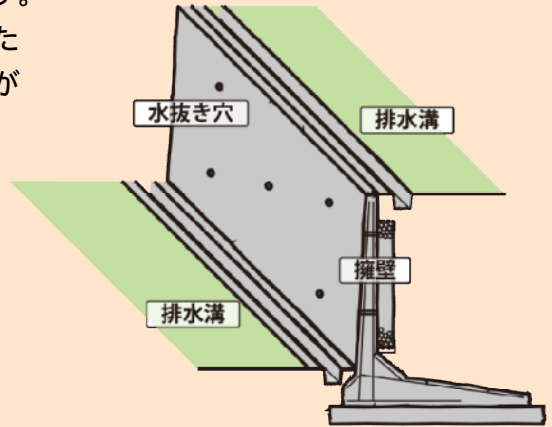
排水機能が低下すると、擁壁に無理な負担がかかります。擁壁の上や下に排水溝がある場合には、そこに土などがたまっていないか確認しましょう。また、擁壁に水抜き穴が設けられているか、詰まりがないか確認しましょう。



擁壁の上にある排水溝の詰まり



水抜き穴の詰まり



より詳しく点検を行いたい方は、下記ホームページより「我が家の擁壁チェックシート（案）」をご覧ください。  
<http://www.mlit.go.jp/crd/web/jogen/check.htm>

## 対策

擁壁が不適切な工法（→P.7参照）であったり、変状が現れている（→P.8参照）場合は、専門家に相談し、変状の程度や原因に応じて、元の状態に戻す補修や、より強い擁壁にする補強、必要な場合は安定した構造の擁壁への造り替えなどの対策を行きましょう。

なお、対策工事を行う場合には、事前に自治体の許可や確認が必要となる場合がありますので、詳しくは自治体窓口にご相談ください。

